

「更なる飛躍を目指して」

この度は、男鹿海洋高校ホームページにアクセスしていただき、ありがとうございます。

平成16年度、本校は「男鹿に学んで世界に羽ばたく生徒の育成」を教育目標に、県内唯一の水産科を有した総合制高校として新たなスタートを切りました。現在、生徒は131名が在籍し、水産科（海洋科・食品科学科）2クラスのほかに、商業系科目の充実という特徴をもつ普通科1クラスの構成となっています。

本校の前身は、昭和21年、秋田県立水産学校として水産科（漁業課程、製造増殖課程）が設置され、翌年には学制改革により新制中学を併置し、秋田県立船川高等学校（定時制課程）が併設されました。そして24年には秋田県立船川水産高等学校と改称され、通常課程（水産科、普通科）と定時制課程が設置されました。翌年には通常課程に家庭科も設置されましたが、33年3月に家庭科が廃止され、それと同時に定時制課程が独立し秋田県立男鹿高等学校となりました。36年に機関科を設置、38年には普通科を廃止し、無線通信科が設置されました。その後は漁業科、水産製造科、機関科、無線通信科の4科体制で昭和52年まで男子校時代が続きました。しかし各国が排他的経済水域を設定したため遠洋漁業が衰退、加えて近隣に新設校の創立などによって志願者が減少し、再び女子生徒を受け入れるようになりました。その後は「少子化」の波が押し寄せ、一度独立した男鹿高等学校の普通科との統合が行われ、現在に至っています。

さて、来年度から高校においても新学習指導要領が完全実施されます。これからの未来は、変化の激しい、予測困難で不透明な社会になると言われています。その中で生徒たちが、社会をたくましく生き抜いていくために必要な資質・能力の育成が求められています。幸い本校には、長年築き上げてきた地域との信頼関係があります。そのため社会に開かれた教育課程の実現を目指して、今年度から、全国に郷土料理店・レストラン・カフェバーなど約110店舗をもつドリームリンク株式会社、男鹿市の三者で行う「男鹿地域産学官連携プロジェクト事業」をスタートさせます。この事業の目的は、男鹿地域の未来を見据えた総合的な活性化です。三者が同じ目標に向かって地域の課題を明確に設定し、思考・探究力をそれぞれの立場で支援し、協働的な活動を通じて創造力・実践力を身に付けさせ、卒業後に地域に貢献できる人材育成を目指します。

また、日本初の大規模洋上風力発電事業が本県沖でまもなく始まります。海洋高校イコール漁師というイメージが強いようですが、港湾建設や洋上風力発電の基礎工事に必要な潜水士や、風車設備の点検や修理を行うための作業員運搬船(Crew Transfer Vessel)の船員は必要不可欠です。

私たち教職員一同はSDGs17項目の実現を目指し、男鹿の海とつながっている海岸線を保有する世界168カ国でも活躍できる生徒の育成に努めてまいります。

令和3年4月1日

秋田県立男鹿海洋高等学校
校長 船木 和則